この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 心房細動を合併した弁膜症に対する胸腔鏡下心臓手術における不整脈手術併施の治療成績
	●研究の対象 2021 年 1 月～研究機関の長による実施許可日前までに、当院で胸腔鏡下僧帽弁形成術に併施する不整脈手術(MAZE 手術)を受けられた方　100 名 また上記期間に当院で不整脈手術(MAZE 手術)を併施しない胸腔鏡下僧帽弁形成術を受けられた方　100 名
	●研究の目的 心房細動は弁膜症、特に僧帽弁疾患に高率に合併し、心不全増悪、血栓塞栓症に関与することが知られています。僧帽弁手術時に心房細動に対する外科的アブレーション、いわゆる MAZE 手術を併施することは、洞調律維持（正常な脈拍の維持）や脳梗塞予防の観点から有用とされています。 近年、低侵襲心臓手術の発展により、小開胸での胸腔鏡下弁形成術が広く行われるようになりました。胸骨正中切開（胸骨を切開する従来の手術）と比較して整容性、疼痛軽減、早期回復といった利点が期待される一方で、限られた術野において MAZE 手術を併施することの妥当性、安全性、洞調律維持率については、報告が多くありません。 今回の研究では胸腔鏡下弁形成術において MAZE 手術を併施することによる効果を分析し、最適な治療戦略を探求します。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2031 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日

	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、病歴、治療歴、手術情報、検査結果など 試料：使用しません
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　平野雅大
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない

	場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　第一外科・心臓血管外科 担当者：　平野雅大 TEL：　053-435-2111（病院代表） E-mail：　masahiro@hama-med.ac.jp